

公益財団法人母子衛生研究会について

母子衛生研究会は昭和 35 年、「心豊かな親づくりとすべての子どもの幸せ」を願って設立されました。行政との連携のもと、医療・保健・福祉・教育分野の専門家の協力を得て事業を実施しています。

いま、ライフスタイルの変化や価値観の多様化を背景に母子保健へのニーズも多様化しています。社会の子育て力が弱まる一方でメディアには情報が溢れ、親は迷いや悩みを深めています。私たちの活動に寄せられる期待はいつそう高まっていると感じます。未来を担う子どもたちを幸せに、健やかに育むために何ができるのか？心豊かな親づくりをどう支えるのか？変動する社会にあって常に変わらない、私たちのテーマです。

母子衛生研究会が国民に啓発を希望する内容

妊婦、乳幼児を持つ母親、父親、家族に対する母子保健情報の発信

- ・妊娠中の心と身体の健康が大切であること
- ・子育て中の悩みを相談できる場所があること
- ・妊娠・出産・育児の正確な知識と情報が得られること

当会は、わが国を代表する母子保健及び子育て支援の専門家、学識経験者の指導・協力を得て制作した「母子健康手帳副読本 赤ちゃん&子育てインフォ」などの冊子の配布、「妊婦教室」の開催、ホームページ、スマートフォン向けアプリの発信など、確かな情報を妊婦や子育て中の家族に提供しています。また全国各地の母子保健相談室においては保健師・助産師が対面で相談を行い子育てにかかわる不安の軽減に努めています。



母子健康手帳副読本



妊婦教室



母子保健相談室